

平成23年度 当初予算・事業計画

平成23年度北区社会福祉協議会の事業計画と当初予算につきましては、平成23年3月に開催されました理事会、評議員会にて議決されましたので、その概要をお知らせいたします。

予算編成の基本方針

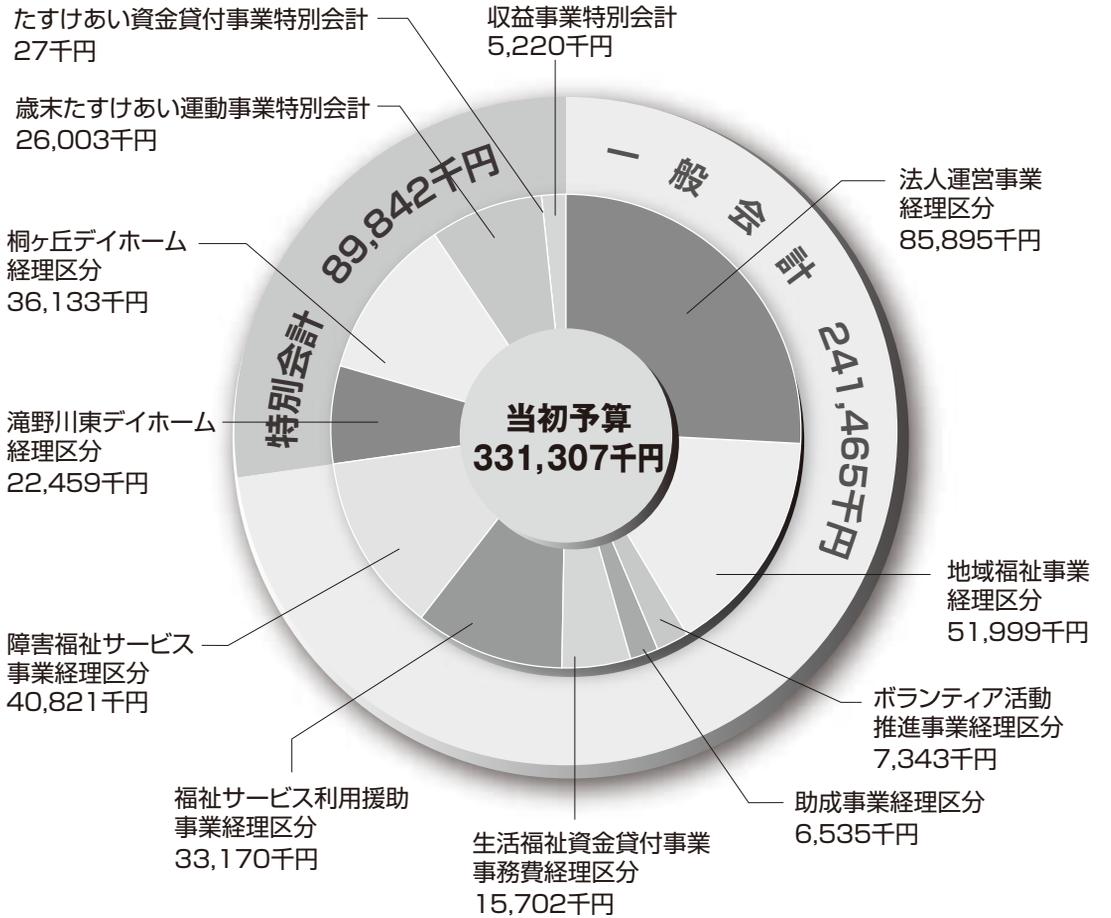
1. 多世代によるささえあいの輪を広げます
2. 一人ひとりの立場に立った支援を実現します
3. 区民に支持される北社協を目指します

重点項目

1. 第2次地域福祉活動計画の見直し
2. 広報活動の強化と会員制度の充実及び会員の増強
3. 友愛ホームサービス事業の充実
4. 高齢者デイホーム事業の推進
5. 福祉人材支援事業の体系化
6. 成年後見制度の利用促進等権利擁護センター事業の推進
7. 地域福祉推進体制の強化

具体的には…

- 第2次地域福祉活動計画の事務事業評価を行い、地域福祉の向上を目指します。
- 区民への広報・報告などのPR活動を強化し、会員加入の促進と会員の増強をはかります。
- 友愛ホームサービス事業を、地域包括支援センター等と連携をはかりながら、利用者の増加に努めます。
- 福祉のしごと総合フェアを年間3回開催します。
- 成年後見制度の利用促進などを目的に講演会や出張説明会、弁護士による専門相談などを実施します。



平成22年度 事業報告

平成22年度におこなわれた主な事業につきましてご報告いたします。



児童福祉事業 (区内施設、保育園でのアートプログラム)

■福祉人材事業

北区内における福祉人材の確保のために、平成22年度は、6月・9月・3月の3回「福祉のしごと総合フェア」として総合面接相談会を開催しました。各回約20の施設・事業所が参加し、来場者数は延べ1000人にも及びました。また福祉施設の職員の定着化をはかるため、4回の福祉人材セミナーを開催しました。

■児童福祉事業

児童福祉の推進として、北社協では、アートの持つ力に着目しています。児童福祉施設にアートプログラムを提供するという試みは、アートの持つ力が新しい体験や発見をもたらすということで大変好評で、ぜひまたやってほしいとの声をいただきました。平成23年度も力を入れていきます。

こなっていききたいと思えます。

■高齢者デイホーム事業

平成22年度、北区社会福祉協議会が運営するふたつのデイホームは、筋力アップ体操、アートプログラム、交流事業など多くの楽しいプログラムを取り入れ、介護予防事業の充実をはかってきました。今年度もデイホーム運営に力を入れていききたいと思えます。

■友愛ホームサービス事業

地域のささえあい事業により、在宅福祉サービスとしてスタートしてから20年以上の実績があります。一昨年より北区の高齢者生活援助サービスが開始され、サービスが利用しやすくなりました。23年度も、サポートスタッフを充実させ、利用しやすい制度となるよう力を入れていきます。

■北社協チャリティ映画会 『ぼくはうみがみたくなりました』

平成22年7月3日、赤羽会館にてチャリティ映画「ぼくはうみがみたくなりました」の上映会をおこないました。当日は600人を超す観客のみなさまにお越しいただきました。今後、区民のみなさまに福祉の世界をわかりやすく知っていただくために、また収益金を地域の福祉活動に活用させていただくために、こうしたイベントを開催していきたいと思えます。

■平成22年11月 『今から考える、老い支度講座』開催

平成22年11月20日・11月26日・12月2日・12月14日、老後をより良く過ごすための講座として、4回

連続講座の「老い支度講座」を開催いたしました。1回につき約80名の方に会場いただきました。「上手に老いるための自己点検ノート」「遺言のイロハ」「任意後見制度」「葬儀のあれこれ」というそれぞれテーマに沿った講座は、とても勉強になったとの声を数多くいただきました。



「任意後見制度」置鮎佐和子司法書士



「葬儀のあれこれ」石塚有宏氏

■平成23年1月 北社協社協大会 『がばいばあちゃん』開催

平成23年1月18日、北とびあさくらホールにて北社協社協大会「島田洋七さん講演会」がばいばあちゃん地域で元気に暮らすコツ！がばいばあちゃんから学ぶ前向きな生き方」を開催しました。当日は800人を超す観客のみなさまにお越しいただきました。今後、区民のみなさまに元気を届け、社協の活動をわかりやすく知っていただくために、こうしたイベントを開催していきたいと思えます。